

平成29年8月2日（水）子ども環境体験ツアー「自然とつながる未来都市」

日 程

豊川市役所 → もりの^{まなびや}学舎（長久手） → とよた^{エコフル}ecoful town（豊田） → 豊川市役所

当日の様子



今回の子ども環境体験ツアーは小学生22名が参加しました。

午前中は長久手市の愛・地球博記念公園内にある「もりの学舎」へ行きました。インタープリター（森の案内人）の方と森を散策し、自然の中で普段とは少し違った体験をさせてもらいました。

まず、始めに森の中で触ってはいけない植物やハチの避け方などを教えてもらいました。

森の中をしばらく歩くと、インタープリターの方が鏡を貸してくれました。鏡を通して森の様子を観察します。鏡が光を反射し、森の緑がいつもより明るくきれいに見えました。



次は森に生えている植物を使って光のスタンドグラスを作りました。

木の葉をガラス板にはさんで、思い思いにスタンドグラスをデザインしました。

作り上げたスタンドグラスにタイトルをつけ、一人ずつクイズ形式で発表しました。

午後は豊田市へ移動して「とよたエコフルタウン」に行きました。



こちらでは、コンシェルジュの案内で施設を見学しました。

自然にすむ生き物の体のしくみや巣の構造などは、多くの先端技術やものづくりに活かされていることを知ることができました。

施設内にある水素ステーションでは偶然ですが、燃料電池自動車が水素の補給に来ており、実際に水素を充填の様子を見学させてもらうことができました。

水素の補給が終わった後のディスペンサーのノズルを触らせてもらうと、ノズルは冷たくなっており、水素を -40°C まで冷やしてから自動車に補給していることを教えてもらいました。



今回の子ども環境体験ツアーでは、自然と環境技術のつながりについて、知ることができました。

参加者の声（参加者アンケートより抜粋）

- ・ いろんなことが体験できたとし、見学もできたのでよかったです。
- ・ 自然がすごいと分かった。
- ・ 森の中に入って探検したのが楽しかった。
- ・ 水素で動く車がとてもかっこよかった。そういう車に乗ってみたい。

・・・など